



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月28日

上場会社名 モーニングスター

上場取引所 東

コード番号 4765 URL <https://www.morningstar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 2020年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,931	6.8	1,160	10.3	1,398	0.1	953	1.0
2019年3月期第3四半期	4,615	6.4	1,294	10.3	1,397	10.0	962	11.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 914百万円 (21.2%) 2019年3月期第3四半期 754百万円 (13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	11.50	
2019年3月期第3四半期	11.63	

潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	11,437	9,239	79.2	109.24
2019年3月期	11,077	9,443	84.5	112.92

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 9,055百万円 2019年3月期 9,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		6.50		7.50	14.00
2020年3月期		7.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の期末配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

業績予想につきましては、現時点では未定であります。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) SBI bonds Investment Management株式会社、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	83,973,600 株	2019年3月期	83,973,600 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,081,170 株	2019年3月期	1,081,170 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	82,892,430 株	2019年3月期3Q	82,772,284 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年1月28日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)の連結業績は、売上高が前年同四半期(2018年4月1日～2018年12月31日)の4,615百万円から316百万円(6.8%)の増収となる4,931百万円となりました。

また、売上原価は、前年同四半期の2,734百万円から389百万円(△14.2%)減少し2,344百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同四半期の587百万円から839百万円(42.9%)増加し1,426百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の1,294百万円から133百万円(△10.3%)の減益となる1,160百万円となりました。

営業外損益は、前年同四半期と比べ、純額で135百万円増加し、その結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の1,397百万円から1百万円(0.1%)の増益となる1,398百万円となりました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期の962百万円から9百万円(△1.0%)の減益となる953百万円となりました。

[連結業績の概要]

	2019年3月期第3四半期 連結累計期間		2020年3月期第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額(千円)	利益率	金額(千円)	利益率	金額(千円)	比率
売上高	4,615,089		4,931,171		316,082	6.8%
営業利益	1,294,067	28.0%	1,160,331	23.5%	△133,735	△10.3%
経常利益	1,397,022	30.3%	1,398,522	28.4%	1,499	0.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	962,756	20.9%	953,607	19.3%	△9,148	△1.0%

連結売上高は8期連続の増収、3期連続で過去最高売上を更新しました。

経常利益は11期連続の増益、8期連続の最高益を記録しました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第3四半期連結累計期間 2018年4月1日から 2018年12月31日まで		当第3四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年12月31日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ファイナンシャル・サービス事業					
データ・ソリューション	1,219,824	26.4	1,365,076	27.7	11.9
メディア・ソリューション	806,974	17.5	827,101	16.8	2.5
計	2,026,799	43.9	2,192,177	44.5	8.2
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	2,588,290	56.1	2,738,994	55.5	5.8
計	2,588,290	56.1	2,738,994	55.5	5.8
連結売上高	4,615,089	100.0	4,931,171	100.0	6.8

1) ファイナンシャル・サービス事業

・データ・ソリューション

「タブレットアプリの提供台数が前年同四半期の66,450台から35.9%増加し90,306台となったことなどにより、ファンドデータの売上が増加いたしました。一方、株式新聞購読料、ファンドレポートの売上が減少しました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同四半期の1,219百万円から145百万円(11.9%)の増収となる1,365百万円となりました。

・メディア・ソリューション

ウェブ・コンサルティングの売上が増加いたしました。ウェブ広告や資産運用セミナーなどを統合的に提供するメディア・ソリューションの売上が減少いたしました。

その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の806百万円から20百万円(2.5%)の増収となる827百万円となりました。

2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

新規子会社Carret Asset Management LLCの信託報酬が新たに加わりました。一方、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するファンドの純資産額の月末平均残高が、前年同四半期の2,906億円から14.2%減少し2,494億円となり、投資委託者報酬が減少いたしました。

その結果、アセットマネジメントの売上高は、前年同四半期の2,588百万円から150百万円(5.8%)の増収となる2,738百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の2,026百万円から165百万円(8.2%)の増収となる2,192百万円となりました。

セグメント利益は、前年同四半期の829百万円から17百万円(2.1%)の増益となる846百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の2,588百万円から150百万円(5.8%)の増収となる2,738百万円となりました。

セグメント利益は、前年同四半期の464百万円から151百万円(△32.6%)の減益となる313百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して360百万円増加し、11,437百万円となりました。

これは、流動資産が861百万円減少し、固定資産が1,221百万円増加したものであります。

流動資産の減少は、現金及び預金が1,549百万円減少した一方、売掛金が642百万円増加したためであります。

現金預金の減少は、新規子会社3社の株式取得に1,505百万円支出した一方、3社の子会社化により684百万円が加わったこと、1,201百万円の配当金を支払ったことによるものであります。

固定資産の増加は、新規子会社の取得により、のれんが836百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、563百万円増加し、2,197百万円となりました。

負債の増加は、主として、1,000百万円の銀行借入をしたことによるものであります。

当第3四半期連結累計期間に953百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、1,201百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が248百万円減少し、4,154百万円となりました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して203百万円減少し、9,239百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場において、その動向を当期を通じて、想定するのは難しく、当社グループの業績を、現時点では合理的な算定を行なうことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,147,460	2,597,465
売掛金	1,137,767	1,780,158
たな卸資産	※1 7,501	※1 18,384
その他	169,770	204,641
流動資産合計	5,462,500	4,600,649
固定資産		
有形固定資産	※2 71,993	※2 81,882
無形固定資産		
のれん	1,262,507	2,061,030
ソフトウェア	768,153	1,083,172
その他	216,073	185,745
無形固定資産合計	2,246,734	3,329,947
投資その他の資産		
投資有価証券	2,845,712	3,000,462
繰延税金資産	242,165	181,426
その他	208,272	243,031
投資その他の資産合計	3,296,150	3,424,920
固定資産合計	5,614,878	6,836,750
資産合計	11,077,379	11,437,400

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,832	47,169
短期借入金	—	1,000,000
未払金	1,101,187	753,943
未払法人税等	318,722	162,600
未払消費税等	24,954	54,802
その他	131,463	178,846
流動負債合計	1,634,161	2,197,363
固定負債		
繰延税金負債	—	620
固定負債合計	—	620
負債合計	1,634,161	2,197,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,620	2,115,620
資本剰余金	3,370,457	3,370,457
利益剰余金	4,402,481	4,154,148
自己株式	△186,865	△186,865
株主資本合計	9,701,693	9,453,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△348,602	△382,202
為替換算調整勘定	6,727	△15,716
その他の包括利益累計額合計	△341,875	△397,918
非支配株主持分	83,399	183,973
純資産合計	9,443,217	9,239,415
負債純資産合計	11,077,379	11,437,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	4,615,089	4,931,171
売上原価	2,734,002	2,344,577
売上総利益	1,881,086	2,586,593
販売費及び一般管理費	※ 587,019	※ 1,426,262
営業利益	1,294,067	1,160,331
営業外収益		
受取利息	104,587	86,840
受取配当金	125	161,839
その他	2,373	1,459
営業外収益合計	107,085	250,139
営業外費用		
支払利息	—	11,092
為替差損	119	342
持分法による投資損失	3,551	513
その他	460	—
営業外費用合計	4,130	11,948
経常利益	1,397,022	1,398,522
特別利益		
新株予約権戻入益	1,494	—
段階取得に係る差益	—	14,100
特別利益合計	1,494	14,100
特別損失		
子会社清算損	8,455	—
事務所移転費用	2,863	—
特別損失合計	11,319	—
税金等調整前四半期純利益	1,387,197	1,412,622
法人税、住民税及び事業税	403,060	384,032
法人税等調整額	21,381	57,964
法人税等合計	424,441	441,997
四半期純利益	962,756	970,624
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	17,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	962,756	953,607

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	962,756	970,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△207,897	△33,599
為替換算調整勘定	—	△22,443
その他の包括利益合計	△207,897	△56,043
四半期包括利益	754,858	914,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	754,858	900,998
非支配株主に係る四半期包括利益	—	13,582

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の変更

当第3四半期連結会計期間において、SBI Bond・インベストメント・マネジメント株式会社およびSBI 地方創生アセットマネジメント株式会社の株式を追加取得し、子会社としたのに伴い、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
仕掛品	1,551千円	14,824千円
貯蔵品	5,950	3,560

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
	347,576千円	360,850千円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
従業員給与	150,465千円	583,958千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	150,744千円	211,030千円
のれんの償却額	17,025	54,241

(株主資本関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2018年5月18日 取締役会	普通株式	利益剰余金	906,893	11.00	2018年3月31日	2018年6月1日
2018年9月21日 取締役会	普通株式	利益剰余金	538,800	6.50	2018年9月30日	2018年12月3日

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2019年5月17日 取締役会	普通株式	利益剰余金	621,693	7.50	2019年3月31日	2019年6月3日
2019年8月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	580,247	7.00	2019年9月30日	2019年11月15日

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	四半期連結 損益計算書 計上額
	ファイナンシ ヤル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,026,799	2,588,290	4,615,089	-	4,615,089
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,121	-	19,121	△19,121	-
計	2,045,920	2,588,290	4,634,210	△19,121	4,615,089
セグメント利益	829,269	464,797	1,294,067	-	1,294,067

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	四半期連結 損益計算書 計上額
	ファイナンシ ヤル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,192,177	2,738,994	4,931,171	-	4,931,171
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,926	-	23,926	△23,926	-
計	2,216,103	2,738,994	4,955,098	△23,926	4,931,171
セグメント利益	846,827	313,503	1,160,331	-	1,160,331

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)
(単位: 千円)

売上高	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	4,634,210	4,955,098
セグメント間取引消去	△19,121	△23,926
四半期連結損益計算書の売上高	4,615,089	4,931,171

(単位: 千円)

セグメント利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,294,067	1,160,331
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	1,294,067	1,160,331

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

アセットマネジメント事業において、SBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社およびSBI地方創生アセットマネジメント株式会社の株式を追加取得し、子会社とし、連結の範囲に含めたことにより、のれんを計上しております。当第3四半期連結累計期間において、当該事象によるのれんの増加額は836百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	11円63銭	11円50銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	962,756	953,607
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	962,756	953,607
普通株式の期中平均株式数 (株)	82,772,284	82,892,430
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。